

JADA

全国自動ドア協会

121

Jul. 2024

JADA 会報

Japan Automatic Door Association

特集 2024年度 定期総会

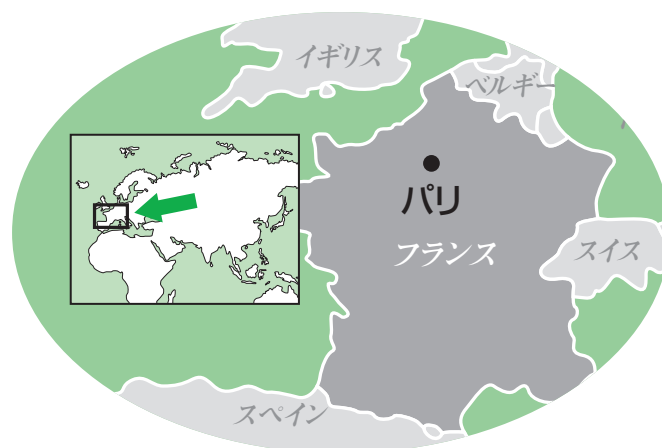


世界遺産：〈フランス〉パリ セーヌ河岸

JADA

Cover Story

JULY 2024 NO.121



芸術と歴史が交差する河

フランスの首都を貫くセーヌ河の岸边は、歴史と美術が見事に調和した文化的景観として知られている。セーヌ河はパリを二分し、その両岸には公園や数々の歴史的建造物、美術館が立ち並び、訪れる人々を魅了している。

ルーヴル美術館、エッフェル塔、ノートルダム大聖堂といった世界的に有名な建造物が岸边を彩る一方で、歴史的な橋や遊歩道は、パリの豊かな文化遺産を体感する絶好の観光スポットとなっている。

1991年、セーヌ河の岸边はその歴史的・文化的価値が認められ、ユネスコの世界遺産に登録された。セーヌ河は、フランスの歴史と芸術を象徴する場所であり、訪れる人々に永遠の魅力を提供し続けている。

2024年7月、第33回オリンピック競技大会がパリで開催される。

画：杉井洋一

Contents

2024年(令和6年)度 定期総会

会長のごあいさつ	4
事業活動報告	5
役員一覧	6
記者会見(質疑応答)	7
HOTLINE ●各委員会からのニュース	8～9
技能検定合格者発表	10
技術部会合同会議	11
物語の中の自動ドア	12
JADA PROFILE ●ナブコドア株式会社	13
JADA Archive	13
賛助会員のページ ●株式会社ホトロン	14
事務局から	15
私の故郷	16
2024年度スケジュール	16

2024年度定期総会

2024年6月12日、東京都港区のアジュール竹芝にて、2024年度定期総会が開催されました。

2023年度の事業報告及び決算の承認が行われ、その後、決議事項として、2024年度の事業計画案、収支計画に関する議案が附議され、

議案書通り承認されました。

また会則第14条第5項に則り、2023年度定期総会後に後任役員として理事会で仮選任された5名(p.15参照)が役員として承認されました。



内田会長



古野副会長



(左から)高杉安全委員長、小崎技能開発委員長、武藤企画委員長、林技術部会長



高橋副会長

社会インフラの維持、安全と安心の提供で、 業界の継続的な発展と存在価値向上へ

全国自動ドア協会会長 内田 正則

皆様におかれましては、日頃から当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本総会も漸く通常開催となりましたことを喜ばしく思います。

改めまして本日はご多用の折、2024年度定期総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年度の世界経済は緩やかな回復基調にはあったものの、ウクライナや中東における軍事衝突の長期化に、欧米を中心としたインフレの進行や金融引き締め政策、そして、中国の長引く不動産不況等、先行き不透明な状況が続きました。また、日本経済においては、コロナ禍を乗り越え、インバウンド需要や企業好業績に伴う日経平均株価の上昇等、景気回復ムードの高まりを見せました。しかし、その一方では、円安の進行・物価上昇・原材料の高騰・個人消費内需の低調等が実体経済の回復にブレーキをかけ、我々の業界もこれらの影響を大きく受けることとなりました。

この様な状況下、2023年度の国内向け自動ドア据付台数は約137千台（前年比6.4%の増加）、また、生産台数は144千台（前年比1.9%の増加）とそれぞれコロナ禍の低迷を脱することができました。そして、2024年度も自動ドアの需要は底堅く、総生産台数は146千台に達するものと予測しております。

今後の建設需要はますます首都圏に集中し、地方エリアにおいては需要減の傾向が続くことが予想されますが、当業界としては「お客様のご要望に着実にお応えしていくこと」が最も重要であると考えております。

本年度、当協会としましては、事業計画にもあります通り、次の点を重視し適時適切な活動をおこなってまいります。

▶安全性向上及び安全啓発として、自動ドアの安全に関する研究並びに立案、JIS A 4722「歩行者用自動ドアセッ^{あずか}トー安全性」の利用者及び関連主体等への安全啓発活動、当協会内での事故報告集計と分析を行い、更なる安全向上に努めます。

▶技術基準の制定・改定においては、関連基準の制定・改定に対する対応。関係官庁、関連団体との技術基準情報の交換。関係規格の研究と対応に努めます。

▶JIS 啓発活動と制定後の市況調査及びJIS 対応製品の需要拡大の活動を継続いたします。

▶自動ドアの適切な施工ならびに点検整備の必要性をご理解いただくと共に、安全・安心の提供のため、自動ドア施工技能士の育成と一層の充実に努めます。

▶協会会報の発行、ホームページを十分活用し、JISに関する周知活動を継続してまいります。

最後になりますが、全国自動ドア協会は、会員各社が今まで以上に一致協力し、自動ドアの必要性・有用性を広くご認識いただき、社会インフラの維持、そして何より安全と安心の提供に取り組むことで、業界の継続的な発展と存在価値向上に寄与できるよう、より活発な活動と努力をしております。

今後とも皆様のご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



事業活動報告

2023年度の国内市場は、2022年までの世界的な半導体不足による電子部品供給不足、また新型コロナウイルス蔓延による経済低迷からの影響を脱却し、生産台数においては前年比3.5%増となりました。

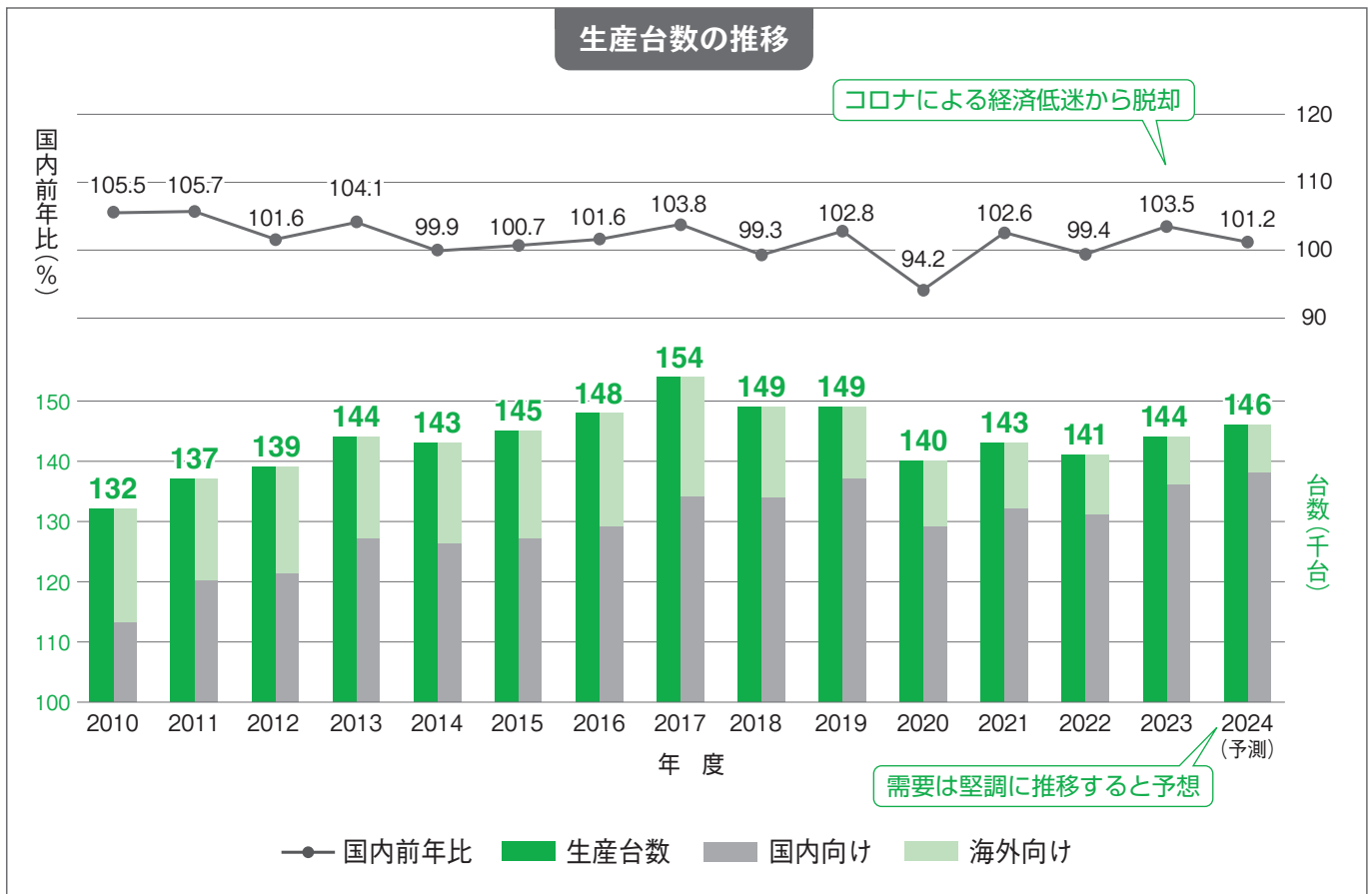
自動ドアの需要動向

2023年度の自動ドア生産台数の実績

国内向け台数 136千台/年(前年度比 103.5%)

海外向け台数 8千台/年(前年度比 80.4%)

総生産台数 144千台/年(前年度比 101.9%)



■国内の据付台数は前年比 6.4% 増の 137 千台となりました。
2024 年度は国内大都市圏における再開発や大型プロジェクトにより、需要は堅調に推移すると予想され、国内向け生産台数 138 千台、海外向け 8 千台、総生産台数 146 千台としました。

2024 年度	予 測
国内向け生産台数	138 千台
海外向け生産台数	8 千台
総生産台数	146 千台

自動ドアの安全に関する取組み

当協会は、自動ドアの安全確保に関する活動を重要な使命と考え、自動ドアの通行者の安全を実現するエントランス環境づくりのための研究と諸施策を継続して実施しています。

自動ドアの安全規格 JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット—安全性」の改正内容を反映し、使用状況や種類に合わせた自動ドア設定方法など、運用マニュアル(安全編)をより実用的な内容に見直し、新たに「歩行者用自動ドアセット安全対策運用マニュアル」を作成しました。また、集合玄関機の操作によるマンション出入口での指の引き込まれ等事故防止対策の一助として、注意喚起するステッカーを作成しました。

● 技術基準等の改定活動

JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット-安全性」の改正内容を反映、内容の見直しを行い、「自動ドアの知識（第16版）」及び「運用マニュアル：設計編（2024年版）」を発行しました。

自動ドア開閉装置の性能規格（JIS 規格）制定に向け、要求項目の概要をまとめ、2024年2月に日本規格協会のJIS 原案作成公募制度へ応募しました。現在、技術基準委員会にて意見交換をおこない、主要課題について検討しています。

● 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格である「自動ドア施工技能士」の2023年度技能検定試験が2024年1月から2月にかけて全国で実施され、2023年度は、258名が受検し、実技と学科を合わせた厳正な検定の結果、173名の合格者が発表されました。

これにより自動ドア施工技能検定試験の全国累計合格者数は、1級が4,084名、2級が4,081名となり、合計8,165名となりました。施工技能士は、自動ドアの安全性を確保し、快適な性能を提供し、施主・建物管理者の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を戴くうえで大変重要な役割を担います。その認識を高めていただくため、全国自動ドア協会では2009年から優秀自動ドア施工技能士表彰制度を制定し、今年で16回目を迎え20名（累計332名）の方が表彰されました。

■ 自動ドア施工技能検定 合格者数

年 度	1級技能士	2級技能士	合 計
2022年度 検定合格者	95人	73人	168人
2023年度 検定合格者	99人	74人	173人
合格者の 累計人数	4,084人	4,081人	8,165人

● 協会役員一覧（2024年度）

■ 会長

内田 正則

ナブコシステム(株)
代表取締役社長

■ 副会長

古野 重幸

フルテック(株)
代表取締役社長

■ 副会長

高橋 誠司

ナブテスコ(株)
取締役 常務執行役員
住環境カンパニー社長

■ 総務部会長 兼 広報委員長

吉田 毅

寺岡オートドア(株)
代表取締役社長

■ 技術部会長 兼 技術基準委員長

林 孝次郎

ナブテスコ(株)
住環境カンパニー 技術部長

■ 企画委員長 兼 自動回転ドア協議会委員長

武藤 春彦

ナブコシステム(株) 取締役
上席執行役員 営業本部長

■ 安全委員長

高杉 義幸

フルテック(株)
執行役員 企画本部長
兼 商品企画部長

■ 技能開発委員長

小崎 弘

扶桑電機工業(株)
執行役員 生産本部長

■ 事務局長

田中 隆行

全国自動ドア協会

■ 理事

相原 潤

北陽オートドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

網倉 克昌

ナブコドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

伊田 展充

ハシダ技研工業(株)
専務取締役

■ 理事

熊井 善之

寺岡オート・ドアシステム(株)
常務取締役

■ 理事

寺岡 宏司

昭和オート(株)
常務取締役

■ 理事

直江 良憲

オリエント産業(株)
代表取締役社長

■ 理事

細山 健二

昭和建産(株)
代表取締役社長

■ 理事

宮澤 勇

平安通商(株)
常務取締役

■ 監事

鈴木 秀明

扶桑電機工業(株)
執行役員 営業本部長

■ 監事

古野 元昭

フルテック(株)
代表取締役副社長
副社長執行役員
営業本部長

※ 2024 年 6 月時点

質疑

Q & A

応答

定期総会終了後、別室にて記者会見が行われました。記者の方々の質問に対して、内田会長が回答しました。

Q 都心部での需要が非常に高いとのことですが、都心部が売上を牽引していくというような状況は、まだしばらく続くのでしょうか？

ガラス新聞社



A 九州博多周辺の工事も熊本の半導体工場も出来上がってしまいましたので、あとは大阪万博があるぐらいでしょうか。日本全体的に見ると、結局は東京に一極集中していくのだろう、と見込んでいます。懸念として、資材高騰と2024年問題の影響による工期のずれ・長期化というのがありますが、やはり首都圏、特に東京を中心とした需要は、押しなべて強いのではないかと捉えています。



内田会長

Q 自動ドアという製品は、非常にエコロジー性が高い商品だと認識しています。いま政府では、CO₂削減を目指して、様々な業界に対して補助金を出していますけれども、協会として“自動ドアのエコ”を政府へ働きかけていくということは考えているのでしょうか？



ガラス新聞社

A 貴重なご意見をありがとうございます。チャンスがあれば、協会としてそのような投げかけを行っていくべきだと考えていますが、もう少し明確に自動ドアのSDGsに対する貢献がお示しできれば、実現することは難しいと捉えています。



Q 2024年問題について質問です。適正な価格と工期という課題認識が、現状どうなっているのか教えてください。



日刊建設工業新聞社

A 世界全体で原材料や光熱費が高騰しているわけですが、当然我々自動ドア業界としても負担になっているのは事実です。上がったコストに対して“適正な価格”をお願いできれば、人材不足の中で施工や修理点検をこなしていかなければなりません。そうすると、今まで1週間で出来ていた工事が「10日かかります」「2週間かかります」という風になっていきます。それで現場にご迷惑をお掛けすることになれば本末転倒ですので、そういったことも踏まえながら“適正な価格”をお願いしているところです。これは決して「自動ドア業界だけが儲けよう」という話ではありません。この問題を放っておけば、建設業界全体が発展どころか衰退してしまう危惧を孕んでいるのです。

Q 大型物件となると、昔は100台ほどだったのが、現在では200台や300台になっているかと思います。社会全体で人手不足が問題となっている中、メンテナンスも行っていかなくてはならないとなると、自動ドア業界としてはどのように対応していくのでしょうか？



時報社

A 例えば遠隔で人手を軽減するような、そういうのもひとつの手段なのかなと思います。保守で言えば、エレベーター業界さんが以前からずっとやっているわけですから、自動ドアでも同じ様な仕組みが構築できれば人手不足の解消になるでしょうね。

Q 「集合玄関機での事故防止対策ステッカー」について質問です。JIS対応の自動ドアであれば、こういう注意喚起のシールも必要ないと思うのですが、JIS対応の自動ドアは実際にどのくらい設置されているのでしょうか？



ミルト出版会

A JIS対応の自動ドアを作っただけで終わりではない、と我々も認識しています。全国の自動ドアをどれだけJIS化できたのか？それがどれだけ安全性の向上に繋がっているのか？というのを協会で検証しなければいけません。現在、会員各社がJIS対応の自動ドアをどのくらい設置しているのか調査を開始したところです。新築物件に関しては、ほぼJIS化されているはずですが、既存の自動ドアに対してはまだまだ実現できていないのが現状です。自動ドアの駆動装置自体はJIS対応でも、例えばステッカーが貼られていないとか防護柵がないとか、そういった複合的な問題ですので、なかなかひと筋縄ではいきません。会員各社からの調査結果を活用して、次にこういったステップへ進むのがこれからの課題です。

優秀自動ドア
施工技能士

2024 年度 優秀自動ドア施工技能士表彰

優秀技能士20名を発表!!

右記の方々は、厳正な選考の結果、全国自動ドア協会が表彰する2024年度の優秀自動ドア施工技能士に選ばれました。表彰は2024年6月12日の全国自動ドア協会定期総会に於いて行われました。



●受賞の言葉

本日はこのような式典に招いていただき、誠にありがとうございます。

私は20年ほど前にいたナブコドア（株）大阪支店技術部工務課という部署にまた戻ってきて、今も活動しております。私の部署は新入社員がすぐに配属される部署でして「どこへ配属になっても恥ずかしくないような人材を育てる」という意気込みでやっております。先ほど会長にいただいた記念の盾で更に自信をつけて、また日々精進して参りたいと思います。何卒よろしくお願い致します。

ナブコドア株式会社：竹清 秀和 氏

	氏 名	推薦会社
1	竹清 秀和	ナブコドア(株)
2	藤中 英樹	ナブコドア(株)
3	堀内 大樹	ナブコドア(株)
4	前川 司	ナブコドア(株)
5	永澤 智幸	ナブコシステム(株)
6	木村 忠晴	ナブコシステム(株)
7	鎌田 博	ナブコシステム(株)
8	中村 朋博	ナブコシステム(株)
9	高橋 啓和	ナブコシステム(株)
10	平野 裕一	ナブコシステム(株)
11	本村 真彦	オリエント産業(株)
12	小滝 直人	寺岡オートドア(株)
13	脇坂 佳紀	寺岡オートドア(株)
14	喜多 弘和	フルテック(株)
15	林 大輔	フルテック(株)
16	木下 文智	フルテック(株)
17	佐藤 祐之	フルテック(株)
18	畑佐 直樹	寺岡オート・ドアシステム(株)
19	徳田 直輝	寺岡オート・ドアシステム(株)
20	嘉井 充志	扶桑電機工業(株)

(敬称略)

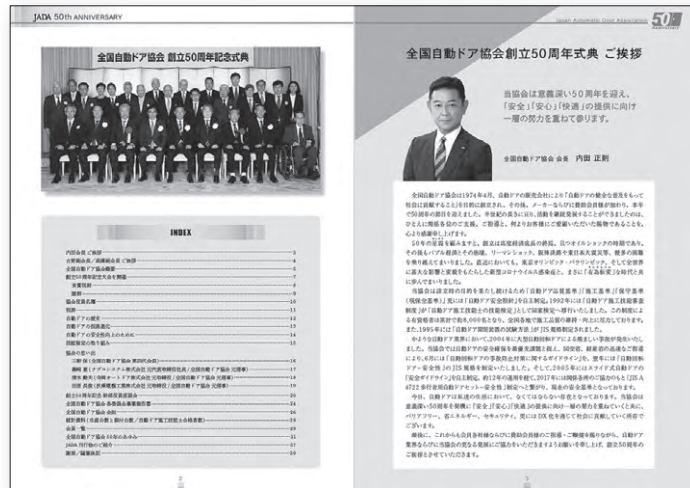


広報委員会
より

50周年記念誌を発行

JADA 創立50周年の集大成として、「全国自動ドア協会 50年のあゆみ」と題した特別記念誌を2024年5月末に発行致しました。本誌は、これまでのJADAの歴史を振り返り、半世紀の感謝と協会の更なる発展を後世へ伝える内容となっています。

創立50周年記念大会の様子や幹部による座談会、元理事から寄稿された「協会の思い出」、「50年のあゆみ(年表)」など、充実した内容となっておりますので、是非お手に取ってご覧いただければ幸いです。



ドバイの自動ドア事情

海外通信

ドバイは、アラブ首長国連邦の最大の都市であり、中東の経済・商業の中心地として急速に近代化しています。ドバイの発展と共に必要不可欠となっている設備のひとつが自動ドアです。ドバイには日本のような四季はなく、冬季(11~3月)と夏季(4~10月)に分かれています。真夏には最高気温50℃、湿度が70~100%の猛暑になるので、建物の空調効率を高めるために自動ドアの普及が進んでいます。

縦方向に設置された
補助光電センサー

あえて駆動装置を見せたデザイン

ドバイの自動ドアの特徴としては、存在感のあるドアが多いことが挙げられます。個性的なエントランスは、観光客やビジネス客を迎える上で重要な役割を果たしています。

日本では安全性、利便性を重視したシンプルなデザインのエントランスが好まれる傾向にありますが、ドバイではあえて駆動装置を見せるなど、オリジナリティのあるデザインが好まれているようです。

ドバイの自動ドアは、単なる出入口の機能を超えて、その豪華さと利便性、エネルギー効率といった多様なニーズに応える重要な設備となっています。これからもドバイの発展とともに、自動ドアの市場も成長を続けることでしょう。

2023 年度（令和5 年度）

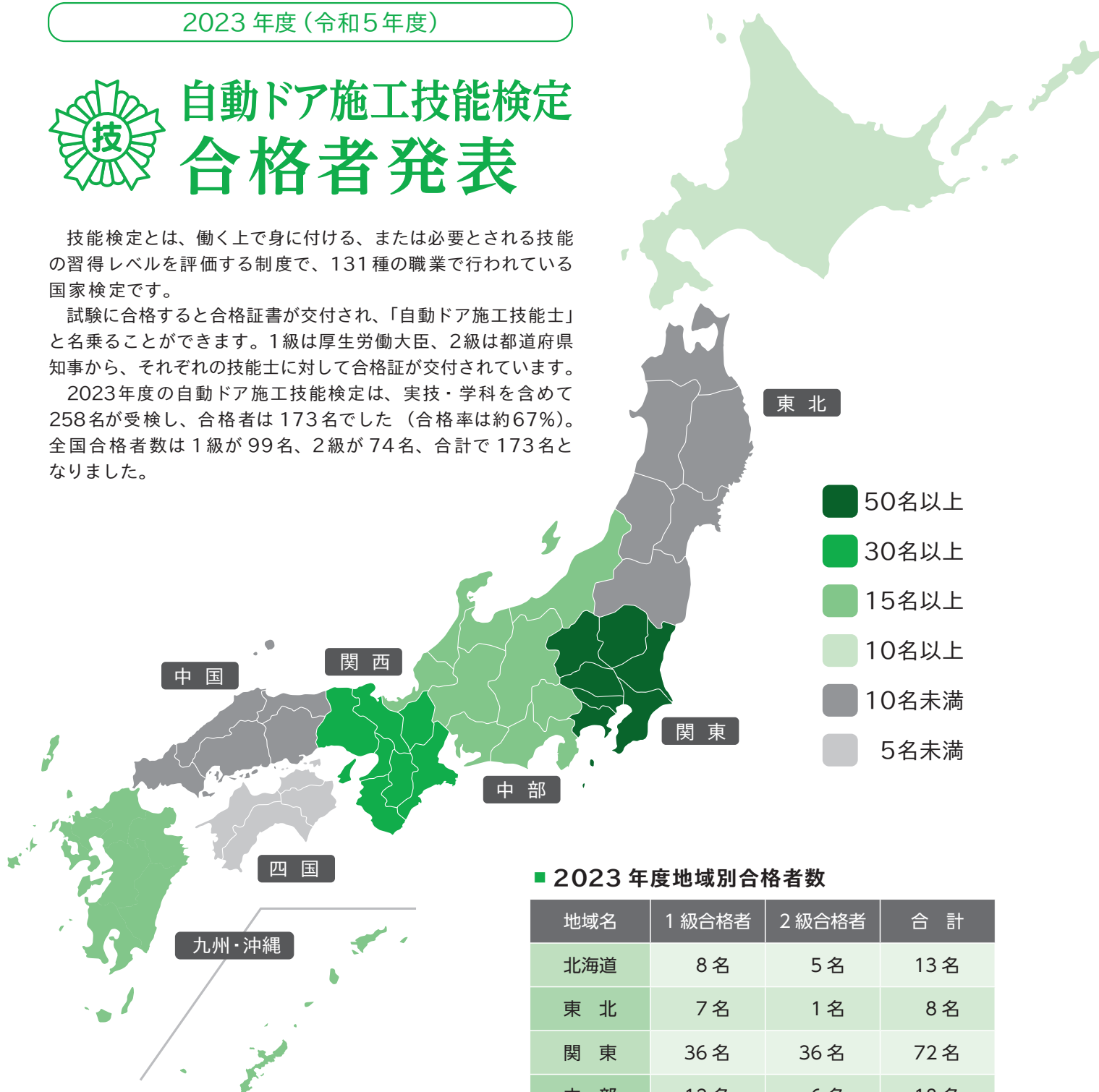


自動ドア施工技能検定 合格者発表

技能検定とは、働く上で身に付ける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する制度で、131種の職業で行われている国家検定です。

試験に合格すると合格証書が交付され、「自動ドア施工技能士」と名乗ることができます。1級は厚生労働大臣、2級は都道府県知事から、それぞれの技能士に対して合格証が交付されています。

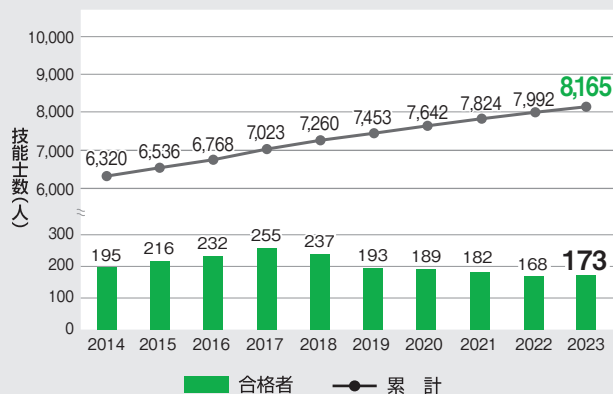
2023年度の自動ドア施工技能検定は、実技・学科を含めて258名が受検し、合格者は173名でした（合格率は約67%）。全国合格者数は1級が99名、2級が74名、合計で173名となりました。



■ 2023 年度地域別合格者数

地域名	1 級合格者	2 級合格者	合 計
北海道	8 名	5 名	13 名
東 北	7 名	1 名	8 名
関 東	36 名	36 名	72 名
中 部	12 名	6 名	18 名
関 西	21 名	16 名	37 名
中 国	4 名	3 名	7 名
四 国	2 名	0 名	2 名
九州・沖縄	9 名	7 名	16 名

自動ドア施工技能士合格者数の推移



自動ドア施工技能士の試験について

国の定めた基準に基づいて、学科試験と実技試験が行われます。学科試験は文章の正誤を問う形式です。実技試験は1級・2級とも、自動ドア装置の取付・調整の作業を試験台にて行います。日程は、等級ごとに全国同時期に実施されます。

未来に向けた取り組みに感銘を受けました！

ナブコドア株式会社 技術本部 技術部 江草 保之

5月16日、2024年度技術部会合同会議が、技術基準委員会・技能開発委員会・技能開発作業部会より各委員8社14名が出席し、宮城県仙台市にて開催されました。

会議はJR仙台駅近くの「仙台市中小企業活性化センター セミナールーム」にて行われ、林技術部会長・技術基準委員長、小崎技能開発委員長、三浦事務局次長らにより、2024年度技術部会事業計画、2023年度技術基準委員会・技能開発委員会の活動報告、2023年度技能検定結果報告、2024年度技能検定予定などについてご説明を頂き、活発な質疑応答や意見交換が行われ、会議は滞りなく終了しました。



会議の様子

会議後は、賛助会員であるオプテックス(株)様、(株)ホトロン様、ハードグラス工業(株)様にもご参加頂き合同懇親会が行われ、日頃はライバル関係にある参加者も、美味しい料理やお酒を前にすると、会話が弾み大いに盛り上がりしました。

翌朝は、チャーターバスにてトヨタ自動車東日本宮城大衡工場に向かい、工場見学を行いました。本工場は東日本大震災後に「震災で多くのモノを失ってしまった東北でクルマをつくり続け自動車産業の基盤を構築することが、トヨタとして出来る一番の復興への貢献」との想いで2012年に設立され、従業員は約7000人で構成されており、5種類の車(シエンタ、ヤリスクロス、カローラアクシオ、カローラフィールダー、JPN TAXI)を生産されています。本工場では現場発言を大事にしており「企画～開発～生産」が一体となった「一気通貫」の考えを基に、生産現場の声や意見を開発や企画まで遡って解決



後列、右から2人目が筆者

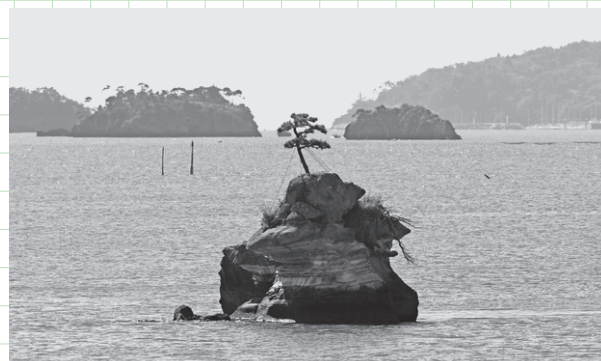
し、いいクルマをより早くお客様に提供する取り組みを行っているとの説明を受けました。組立ラインでは、多くの従業員がランダムに流れてくる車種に対して、それぞれの車種に応じた部品を無駄のない動きで組付け作業をされており、組付け漏れなどの異常があった場合は、作業員自らラインを止め、上長の指示を仰ぎ問題解決後にラインを再稼働し、後工程に作業を残さない事を徹底していると説明を受けました。又、従業員発案の治工具や動力を使用しない「からくり」構造による運搬機器などのアイデアを取り入れ、作業性と効率化を図る事を常に行っており、作業風景からも個々の意識の高さを感じることが出来、非常に良い体験となりました。

工場見学後は、日本三景の一つの「松島」に移動し昼食の後、貸切り遊覧船にて松島湾内の島巡りとして40分ほどクルージングを楽しみました。「松島」とは松島湾内に浮かぶ大小260余りの島々を総称した呼び名で、「仁王島」、「鐘島」、「双子島」など大小の奇岩すべての島に名前と由来があり、中でも「千貫島」については、伊達政宗公がこの島の形の良さに感銘を受け「この島を館に運ぶものあらば千貫を遣わす」といったエピソードからつけられたものと言われています。それぞれの島の奇形や名前の由来の説明を受けながら歴史に思いをはせる癒しのクルージングを満喫しました。

最後に訪れたのは、松島を代表する観光名所の瑞巖寺です。伊達政宗公が5年の月日をかけて完成させた本堂と、寺の台所である庫裡は国宝とされています。国宝に認定されている襖絵や欄間、彫刻等はきらびやかな金箔で飾られ、豪華絢爛な桃山文化を堪能した後、JR仙台駅に移動し、今年の技術部会合同会議は終了しました。

トップ企業の工場見学で未来に向けた取り組みに感銘を受け、歴史ある風景や建造物の見学で歴史を顧みるなど充実した見学会となりました。

実施にあたり、御協力頂きました皆様に対してこの場を借りて感謝致しますのと同時に、合同会議及び見学会の企画、引率等を行って頂きました JADA 事務局の方にも感謝を申し上げます。ありがとうございました。



松島 千貫島

物語の中の自動ドア

第14回

イラスト/コハラ アキコ

火の魚 2009 NHK TVドラマ

瀬戸内の島に住む老作家 村田を、東京の女性編集者が訪ねてくる。村田は若い折見を邪険に扱うが、やがて二人は信頼関係を築いていく。
ある日、村田は自分が可愛がっていた金魚を魚拓にして「小説の装丁に使いたい」と言い出す。小さな命を巡って、心が揺れ動く二人……

「火の魚」は、室生犀星と装幀家の折見久美子との実話を基にした犀星の短編小説です。NHK 広島により大胆に脚色・映像化され、第64回文化庁芸術祭大賞などを受賞しました。

作家の村田は、それまでの放蕩無頼な生き方を捨て、世俗を離れた島暮らしを選びました。文筆家としての気概を失った村田の作品は、陳腐で形骸化したものになっていきます。それを折見に指摘され、やけになった村田は、自分が飼っている金魚を殺し、その魚拓を新著の装丁にするよう命じます。

戸惑う折見に、「この世には死んでいい魚と死んじやいけない魚があって、金魚は死んじやいけない魚だと？」と言い放つ村田。

物語は進み、折見の病を間接的に知った村田は、はるばる見舞いに訪れます。そんな老作家に、折見は「死を意識したとき人間は果てしなく孤独です。でも、その孤独こそが先生と私を強くつなげてくれる気がしていました」と静かに伝え、自動ドアの向こう側へ消えていきます。

鯛や鰯を平気で殺す一方で金魚の命を奪うのは可哀相だと感じるのは、たしかに矛盾しています。私たちは、そんな感情を整理できないまま現代を生きています。死に怯えながら死んだように生きる村田と、若くして死に近づく折見。物語の中で、自動ドアは〈こちら〉と〈あちら〉を隔てる舞台装置の役割を果たしています。

故郷の島に
引きこもり中



気難しい
老作家・村田 (原田 芳雄)



とりわけ
女性の描写の
ひどいこと

失望しています

中々怖じしない
編集者・折見
(尾野 真千子)



嬉しそうに花束をうけ
とった折見。自動ドアの
あちら側とこちら側が
今生の別れを思わせる……

半年後折見が
癌と知り
村田は島を出て
都会の病院へ



NABCO ナブコドア株式会社

〒530-0003

大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ20F

URL: <https://www.nabco-door.co.jp>

弊社は「NABCO」ブランドを支える販売・施工会社として1957年に大阪で創業いたしました。弊社が今日に至るまで自動ドアの歴史とともに成長できたのは、数多くのお客様の支えのもと販売網・施工実績・サービス体制を築き上げることが出来たからだ実感しております。

これからもお客様から頼られる存在であり続けられるよう、弊社では現場作業員向けの教育に力を入れており、2017年に竣工した大阪府茨木市のトレーニングセンターでは、様々な自動ドアの実機を備え付けており、施工品質向上や自動ドア事故撲滅・労働災害事故撲滅を目的とした研修を行っております。また、新入社員教育や現場で必要な技術取得に向けた社員教育も実施しております。

お客様に向けては自動ドアを安全にご利用いただくため、防護柵設置のご提案など、安全周知に関する取り組みを積極的に行っております。

今後も弊社は従前より培ってきた販売・施工力を基本に、お客様に選んでいただける商品・満足していただける上質なサービスを提供し、あらゆる人の行動や暮らしをサポートすることに

より利便性の高い価値を提供していくことが必要であると考えております。今まで以上に商品開発や新規事業にも注力し、「安全・安心・快適」に基づいた新しい価値を創り出し社会に貢献してまいります。



ナブコドア茨木トレーニングセンター

会社概要

代表者	網倉 克昌(代表取締役社長)
創業	1957年7月11日
設立	1962年4月28日
事業内容	各種自動ドア、金属製・ガラス製建具、建物用防災システムの販売、施工ならびにこれらの製品の保守・修理業務



今年、創立50周年を迎えた全国自動ドア協会ですが、10年前には創立40周年記念大会が催されました。当時の元号だった「平成」は31年まで続き、2019年から新しい元号「令和」の時代が始まることとなります。

10年前の建設業界は、東日本大震災の復興事業や東京五輪開催決定の影響もあり、長い経済の低迷から徐々に回復の兆しを見せ始めていました。

2009年に12万8千台まで減少していた自動ドア生産台数も2013年には、14万4千台まで回復していきます。



会報 第101号(2014年7月発行)より



自動ドアセンサーのパイオニア

店舗入口の自動ドアから高層ビルのエントランス、産業用の大型扉や自動門扉まで、ホトロンはセンサー技術を追求し、街のいたるところで人々の暮らしをサポートします。



省エネ

× 感染症対策

光線タッチ機能でドアのムダ開きを軽減

光線タッチセンサー HA-Tシリーズ



※光線はイメージです。



無目取付型 HA-T401

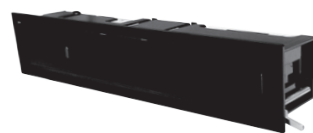


カバー色 S:シルバー B:ブロンズ W:ホワイト M:ミラー K:ブラック G:ステンカラー



タッチシール (別売り)

無目内蔵型 HA-T520



タッチシール (別売り)



高い扉

× シャッター

設置高さ3.5m~6.5m

マイクロ波+赤外線 産業用センサー



高所取付型
KABUTO



※光線はイメージです。



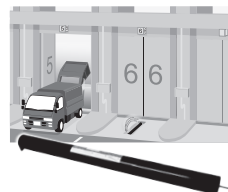
ごみ処理施設

× 自動門扉

スムーズな走行 車両検知センサー

鉄筋や鋼板の上にも設置
できる車両検知センサー

コンパクトサイズのループ
コイル方式車両検知センサー



埋込型パークセンテナ
HM-S6



コイル
50m巻き

小型ループコイル検知器
HM-LC6

取扱製品



自動ドアセンサー
Sensors
for Automatic Door



車両検知センサー
Vehicle Sensors
for Parking System



看護・介護センサー
Sensors for
Healthcare



入退室管理システム
Sensors
for Security

会社概要

社 名
英 文 社 名
設 立
事 業 内 容

株式会社ホトロン
Hotron Co., Ltd.
1975年6月
センサー製品の販売・保守

Sensors in your life.



株式会社 ホトロン

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-11-26
TEL:03-5330-9221 FAX:03-5330-9222
URL www.hotron.co.jp

事務局から

●被表彰者

2024年6月、永年にわたり技能検定の推進に尽力されたことに対して、東京都職業能力開発協会から感謝状が贈られました。



フルテック(株)
岡本 正彦



寺岡オートドア(株)
脇坂 琢一



寺岡オートドア(株)
田代 和史



寺岡オートドア(株)
吉江 長和



寺岡オート・
ドアシステム(株)
田所 靖雄



ナブコシステム(株)
和田山 邦博



ナブコシステム(株)
山中 政直

●新役員のご紹介



相原 潤

北陽オートドア株式会社 代表取締役社長

〈略歴〉

昭和40年 8月生
昭和59年 株式会社船場 入社
昭和60年 株式会社北陽オートドアサービス 入社
平成17年 代表取締役
令和 6年 北陽オートドア株式会社に社名変更
令和 6年 現職



網倉 克昌

ナブコドア株式会社 代表取締役社長

〈略歴〉

昭和38年 3月生
昭和60年 ナブコドアエンジン株式会社
(現ナブコドア株式会社)入社
平成28年 執行役員 総務人事部長
令和 2年 取締役 執行役員 営業本部長
令和 6年 現職



田中 隆行

全国自動ドア協会 事務局長

〈略歴〉

昭和43年 7月生
平成 4年 株式会社ナブコ
(現ナブテスコ株式会社)入社
平成22年 住環境カンパニー 営業課長
平成23年 NABCO ENTRANCES INC 出向
令和 6年 全国自動ドア協会出向



古野 元昭

フルテック株式会社代表取締役副社長
副社長執行役員 営業本部長

〈略歴〉

昭和41年 10月生
平成 6年 東日本寺岡オートドア株式会社
(現フルテック株式会社)入社
平成19年 取締役
平成26年 常務取締役
令和 4年 代表取締役副社長 副社長執行役員
令和 5年 現職



武藤 春彦

ナブコシステム株式会社
取締役 上席執行役員 営業本部長

〈略歴〉

昭和41年 6月生
平成 元年 ナブコシステム株式会社 入社
平成25年 東北統括支店 統括支店長
令和 2年 北海道統括支店 統括支店長
令和 3年 執行役員 営業本部 本部長
令和 6年 現職

編集後記



「光陰矢の如し」、「歲月人を待たず」と言いますが、まさにそのことばどおりの6年半でした。その間、様々な出来事がありましたが、多くの出会いの場を与えていただいた全国自動ドア協会と会員の皆様に心よりお礼申し上げます。また、多方面からサポートいただきました方々に深謝いたします。これで編集後記を記すのも最後となりますが、まだしばらくの間は事務局に在籍しておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(N. S)



私の故郷は、神奈川県横浜市です。

小学校卒業まで、海、丘、当時の米軍居住地に囲まれた本牧^{ほんもく}という街で育ちました。校庭には水族館があり、体育も海水浴、山を越えると桜の名勝「三溪園」^{さんけいえん}、家の前は海苔干し場という自然に恵まれた街でした。

現在、海は埋め立てられ石油コンビナートの集積地となり、米軍居住地は大型商業施設や分譲住宅が中心の街並みとなっています。

横浜といえば、みなとみらい、中華街などをイメージされる方も多いと思いますが、機会があれば、三溪園、本牧の街を訪ねてみてはいかがでしょうか。



茶人 原富太郎によって造園された三溪園



山下公園とマリンタワー

全国自動ドア協会 2024年度スケジュール (2024年4月～2025年3月)

	2024 年									2025 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総会等			12 日 定期総会			26 日 研修会				17 日 賀詞交歓会		
幹部会		15 日			22 日			13 日			7 日	
理事会		21 日				12 日		28 日			19 日	
企画委員会	26 日			18 日			17 日			17 日		
安全委員会	23 日			30 日			17 日			22 日		
広報委員会	30 日			4 日			17 日		19 日			
総務部会 合同委員会							17 日					
技術部会		16・17 日										
技術基準委員会	12 日		19 日		7 日	11 日	16 日	20 日	13 日			
技能開発委員会					30 日							28 日
技能開発作業部会		10 日	7 日	12 日	9 日	13 日					28 日	

JADA

全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974 年 4 月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 吉田 毅
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行 月: 令和 6 年 7 月

本誌の内容は、JADA の HP でも閲覧いただけます
(発行日より約 2 年間)

